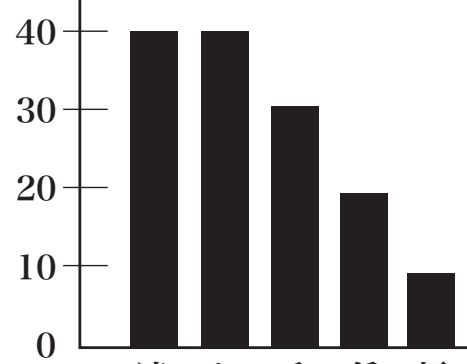


空き家を管理していない理由



**放置空き家が増えるのは住宅性能が悪いから。**

国土交通省は全国の空き家の実態調査を行い、現在756万戸の空き家の調査結果を公開しています。

そこからは、我が国の住宅の現状が透けて見えます。どの様なことから大切な住宅が放置空き家になっていくのかこの調査から類推出来ることは

少なくないようです。この調査から判るのは、親から相続した44%の住宅が空き家になっており、空き家期間は10年以上が19%、5年以上、10年未満が16%となっています。

空き家所有者の21877人の内、280人の13%が放置しており、その理由は「自分で管理できない」、「しばらく住む予定が無いので管理の必要がない」という理由で共に40%、「手間や費用が掛かる」が29%、「管理

住宅性能が低い住宅は財産になり得ない?

住宅を新築して、子供達を育てても高校を卒業すると子供達は、就職や専門学校、大学入学のために都会に巣立っていきまします。もしも暮らしていた住宅がいつまでも快適な印象を残すことが出来れば、子供達はこの家に帰ってこようと思はずです。なぜなら、放置空き家となる住宅は、ほとんど相続しても価値が無い住宅だからです。逆に断熱性能に優れた100年の高耐久性能住宅であれば、話は全く変わってしまいます。

駄目だと諦めないで住宅を改築してください。

現在の住まいでは駄目だと感じたら、子供達に相談して見るべきだと思ひます。誰も親と住みたいとは思わないだろうと考えるよりも、まだ

高性能住宅は、子供達の故郷造りです。

親から相続した住宅を放置しなければならぬ事は本当に悲しいことです。自分が育った住宅こそ故郷の中の故郷です。それを捨てなければならぬという事だからです。

親も捨て住宅も捨て、全てを捨てたという罪悪感か、放置空き家を生かすことだと思ひます。高性能住宅を造ると言うことは、子供達が将来、帰ってこれる故郷造りに他なりません。松下孝建設が高性能住宅や100年高耐久住宅にこだわるのは素晴らしい故郷造りのお手伝いをしていきたいからです。

赤いんぼ

▼ミヤマキリシマは5月下旬から6月中旬まで霧島・えびの高原に群生しています。紫紅色、桃色、薄紅色の花が咲き誇り、霧島山・えびの高原のほか、阿蘇山、九重山、雲仙岳、鶴見岳など九州各地の高山に分布しています。植物学者・牧野富太郎博士が「深い山に咲くツジ」という意味で「ミヤマキリシマ」と命名しました。

▼今回は、放置空き家について、お知らせ致しました。我が国には、現在、5000万戸の余剰住宅があると言われています。

その中の空き家となっているのは約756万戸、その中には様々なドラマがあるはずですが、放置空き家は、立地の条件が比較的良いところにある場合が多く、それ故に目立つという特徴があります。

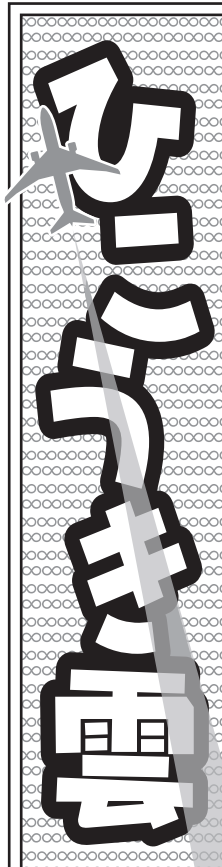
相続人は多く、自分の目ではその住宅を見たくはないのです。親と自分たちが暮らした住宅ですから、思い出があまりすぎる程、有ると思ひます。

だから、売るにも売れないという気持ちも有るのではないかと推してしまいます。深い深いドラムを感じてしまいます。

大切な住宅が放置空家になる?

**立地条件が良い市街地及び市街地周辺が59%、立地の良い場所だから自立つ、放置空き家の実態**

**全国の空き家は756万戸、その内1割が放置空き家になっています。**



発行所 株式会社 松下孝建設  
 発行人 松下孝 行  
 編集責任 齋藤 恭 誠  
 ■本社  
 〒891-0108  
 鹿児島市中山1丁目14-29  
 TEL 099-267-7594  
 FAX 0120-079-089



しても貸すことも売れることも出来ない」が16%となっています。この調査からは、せっかく親が残してくれた住宅が、全く役に立たないばかりか、相続する子供達には、非常にやっかいなお荷物になってしまっているという実態が浮かび上がっています。なぜ、自分たちが暮らしていた親の家がお荷物になってしまったのか、その理由を類推してみましょう。

住宅に価値があると言うことは、子供達が遠隔地で定年退職して、親の家に帰れば新たに住宅を建てることがありません。放置空き家になる住宅とは、全く逆で立場が異なります。定年退職しても親元に帰るには、退職金で親と共に住む住宅を新築する必要が有ります。

これは、長寿命化が進む現代では、共倒れになってしまいます。退職金で新築したら、自分たちの老後資金が無くなってしまつてしまいます。

子供達は、家を放置する様に親も放置せざるを得なかった、というものが現状です。

子供達が故郷に帰れる条件は少なくとも親の住宅が健在であることが大きな条件になります。

公的な住宅金融支援機構には「リレーローン」など様々な融資方法があります。若い内は両親が支払いし、それを引き継いで子供が支払うローンや現在お住まいの宅地があれば、それを元手にして、金利だけを支払って暮らすことも出来ます。

両親が亡くなってから子供達がその家を相続する場合は、元金を引き継いで支払い、相続しない場合はその家を引き渡すという方法もあります。

従って選択権は子供にありまますから、全く迷惑を掛けることはありません。

この様にモーゲージバンク(住宅の証券化金融)を利用すれば、放置空き家を相続させる事もなくなるはずです。住宅を建てる方法はその他にも沢山あります。ご自分の宅地に改築するならば是非、ご相談してください。

▼ミヤマキリシマは5月下旬から6月中旬まで霧島・えびの高原に群生しています。紫紅色、桃色、薄紅色の花が咲き誇り、霧島山・えびの高原のほか、阿蘇山、九重山、雲仙岳、鶴見岳など九州各地の高山に分布しています。植物学者・牧野富太郎博士が「深い山に咲くツジ」という意味で「ミヤマキリシマ」と命名しました。

▼今回は、放置空き家について、お知らせ致しました。我が国には、現在、5000万戸の余剰住宅があると言われています。

その中の空き家となっているのは約756万戸、その中には様々なドラマがあるはずですが、放置空き家は、立地の条件が比較的良いところにある場合が多く、それ故に目立つという特徴があります。

相続人は多く、自分の目ではその住宅を見たくはないのです。親と自分たちが暮らした住宅ですから、思い出があまりすぎる程、有ると思ひます。

だから、売るにも売れないという気持ちも有るのではないかと推してしまいます。深い深いドラムを感じてしまいます。

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エネルギー2013・スペックの展示場

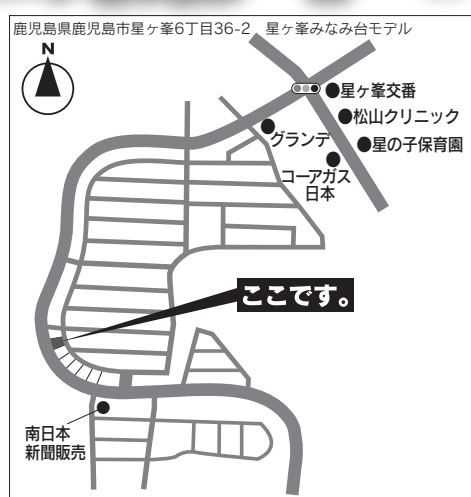
中山新展示場 公開中!

鹿児島における家づくりへのこだわりから生まれた住まい。



自立循環型「プラス・エネルギー・ハウス」展示場公開中!

星ヶ峯展示場 公開中!



他社の住宅と、是非比較してご覧下さい。違いが分かります!

住宅は躯体構造が最も大事、エアコン1台のシンプルな姿をご覧ください。

自立循環型住宅 新 川内展示場建築中!



旧展示上の駐車場スペースに新展示場を新築致しております。新展示場は施工工程を公開していますから、ご見学ご希望の方は、遠慮無く下記のフリーダイヤルでお申込み下さい。建築中の高性能住宅には完成してしまえば見られない様々な工法の特徴や工夫があります。高性能住宅をご希望される方は、一般住宅との決定的な違いをこの機会にご覧下さい。ご連絡をお待ち致しております。

住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。

0120-079-089



